

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育(定員10名)と個別療育(専門的支援実施を含む)を実施している 開設時間が長く身辺自立に向けての支援も実施している	集団療育で色々な年齢との関わりやそれぞれの役割、社会のルールの習得、 個別療育で発達段階と特性を踏まえた支援、理解を伸ばしコミュニケーション手段を習得することで、生活が豊かになるようにしている	活動の種類を増やす 保護者に取り組みがより伝わるようにする
2	職員の加配により丁寧な支援を実施している	排泄トレーニングや食事支援(食具の操作)を実施し自立に向けて 玩具の貸し借りや待つ、工夫することを支援している 朝の会や食事時の着席、個別療育での着席の持続支援	それぞれの支援をより専門性を持って取り組めるよう 職場内研修を引き続き実施
3	1人1人の発達段階と特性に合わせた支援、保護者との共通理解の上支援を実施している	支援会議(担当者会議)にて、1人1人の支援方針と具体的内容の検討・確認をしている	今後も継続して行い、更に日々の調整も加えて子ども達の成長を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の実施に至っていない	保護者会参加意向の人数の把握がなされていないこと、 場所や人員の確保が難しいこと	保護者参加の行事について、定員を超えるための検討、保護者会実施のための場所の確保と人員および予算について具体的に検討する。
2	ペアレントトレーニングや研修会の実施に至っていない	日々の保護者からの相談に丁寧に対応することで個々の困りごと等には対応している。 保護者全体への対応には場所の確保や人員、費用が必要となるため実施に至っていない	保護者会実施となれば、そこで懇談の中での情報交換や日々の困りごとへの助言・提案が可能
3	事業所として地域との交流の機会が少ない	利用児童の多くが幼稚園や保育園に所属しており、地域のこども達と生活を共にしているため、それ以外の場の設定として事業所があるマンション内公園で遊ぶことにとどまっている。	環境の変化に過敏な児童もいるため、配慮しながら可能な範囲で公園遊びを拡大する そのためには人員の確保が必要

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 希張キッズ(児童発達支援)

公表日 2025年3月1日

利用児童数 27名

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	1	0	室内がやや狭い印象がる	コーナー分けなど工夫してわかりやすく過ごしやすくする 公園を活用する
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		清潔を保ち、活動に合わせて場の設定をしていく
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	無回答 1		支援プログラムについて周知する
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0	説明がしっかりあって成長具合も理解できて良かった	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	1	無回答 1	子どもが同じ遊びをしているように感じる 色々な勉強をして帰って来てる など感じる	様々な経験ができるよう工夫し、 合わせて保護者に伝えるように する
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	1	5	そういった情報が全くない 放デイの子どもとの活動はある	多くの児童が地域の幼稚園・保育園に在籍しているが、事業所としても公園の利用など行う
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	2	4	ペアトレや子どもの日常参観などがあると嬉しいです	プログラムとしては実施に至っていないが引き続き個々の相談に対応したり、日々の児童の様子を保護者に伝えたり、情報提供していく。対応できる人材を育成する。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0		児童発達支援計画更新時の面談の他、日々家庭や幼稚園等での相談に引き続き対応していく
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	2	2	無回答 9	保護者同士の交流の機会はないので残念です	児童の利用頻度・年齢・発達段階・所属先が異なること、それに関わる職員数の確保等、難しさがあるが、引き続き検討する

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	1		周知していく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	1	災害時などの連絡経路や手順等が不明である	災害時連絡経路はきずなネット配信および携帯電話での対応がある。マニュアルについては契約時重要事項説明書で簡単な説明をしているが、より丁寧な説明を検討する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	3		定期的な実施を継続し、保護者に伝える。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	1	0	対策はされていると思うが親側に情報が無いのでよくわからない	安全計画が作成されている。保護者に周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1		事故が起きた場合は、迅速に連絡し、細やかに状況等説明する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	「幕張キッズ行く」と名前をちゃんと覚えて伝えてくる	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0	「今日は幕張キッズだね！」と通所を楽しみにしています。いつもありがとうございます。	全員が楽しみに通えるよう、配慮し改善点を検討・実施する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	1	0	ベアトシや他の施設(幼稚園等との連携情報)などもっとあると良いです 今回のアンケートのようなものはネットで回答できるようになると皆の手間が省けて良いのではと思います。 いつもありがとうございます。通い始めてから子どもの成長を更に感じる事ができて嬉しいです。	この評価表結果を踏まえて改善点を検討して取り組む。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	幕張キッズ(児童発達支援)
------	---------------

公表日 2025年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	制度上満たしているが、広くは無いため、あそびをコーナー分けしたり、個別療育の場所をわかりやすくしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	無回答1 加配している。 子どもの状態に対してはもう少し職員数が欲しい。	加配2名を検討 職員の資質向上を図り、よりよい支援を目指す
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	賃貸マンションのため、トイレ等に段差があるが手を繋いだり見守りで安全を確保している。その他は過ごしやすい環境である。 情報伝達は身振りサインや絵カードなども使用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清掃・消毒をこまめに実施している。 マットや机を使用して活動スペースを分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個別になれる部屋(絵本の部屋)が1箇所あり活用している。 落ち着いたりゆっくり過ごせる場所になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎月の職員会議で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価実施後の会議で実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎月の職員会議(支援会議、担当者会議)で実施している。 朝の申し送りやスタッフ申し送りノートでも機会を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	無回答1 法人として検討中	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修の他、毎月の支援会議で職場内研修を実施している。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムの初年度のため、今後必要に応じて修正しより良いプログラムにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	保護者のニーズとアセスメントを照らし合わせて作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	最新の児童発達支援計画書がケース記録に入れてあり、いつでも確認できるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	フォーマルなアセスメントは保護者からの協力により提供してもらい、当所のアセスメントと合わせて活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	特に利用児童の少ない日や朝の会等で工夫している。 お楽しみ要素と理解の向上、個別と小グループ、理解面と身体、双方の活動を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	終了後の打ち合わせは無いが、口頭やスタッフ申し送りノートで共有している。随時互いに声を掛け合っている。 翌日朝の申し送りで前日の出来事を共有して	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保護者を介して情報共有や直接のやり取り、研修会への参加等がある。 必要に応じて行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	情報提供書の作成や、保護者を介して実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				研修会に参加している。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	ほとんどの児童が幼稚園や保育所に在籍している。 活動としては行っていない。事業所前公園で他の子どもと関わる機会はある。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎回利用状況を伝えており、保護者からは都度情報を得ている。 HUGの導入により、より気軽に連絡を取り合えるようになった。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	必要に応じて個別に情報提供している。 家族支援プログラムとしては設けていないが情報提供は行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	検討しているが、利用頻度等個々異なるため実施に至っていない。 現在は保護者同士の個々の関わり(交流)のみである。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	PC・タブレット・携帯電話等の機器、および名簿や児童発達支援計画等のデータにパスワードを設定している。 保護者等とのやり取り時に意識している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	同法人の他事業で実施している。 同法人内の施設行事に地域の方や児童発達・放課後デイの参加が可能である。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年1回の消防通報を含む避難訓練の他、毎月事業所内の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	一覧表を掲示している。 個別ファイルに色を付けて気付きやすくしたり薬の保管など分かりやすくしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年12月3日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育(定員10名)と個別学習の実施をしている。 利用時間が9:00～18:00まで利用できる。	集団療育で幅広い年齢(7歳～18歳)と関わりや役割、社会のルールの習得。 個別学習で発達段階と特性を踏まえた支援、理解を伸ばし、コミュニケーション手段を習得することで生活が豊かになるよう支援している。	活動の種類を拡充させる。
2	職員の加配により丁寧な支援を実施している。	排泄トレーニングや食事支援(食具の操作)を実施する事で自立に向けて支援している。 遊びの中から他児童との正しい関わり方について、見守りや声かけの支援をしている。	それぞれの支援をより専門性を待って取り組めるよう職場内研修の継続させる。 オンライン研修や外部研修にも参加できるよう促す。
3	自宅や学校までの送迎を実施している。	自宅や学校までの送迎を実施している。 事業所周辺の地図を活用し、毎日送迎表を作成する事でスムーズに送迎の実施ができている。	送迎できる学校が決まっている為、新しく送迎できる学校が増やせるよう検討する必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動プログラムのバリエーションが少ない	児童の利用時間の短さや送迎等で人員確保が難しい	ミニイベントを週1～2回計画し、どの利用児童にも機会を提供できるようにする
2	保護者会の実施に至っていない	保護者会参加意向の人数の把握がなされていないこと、場所や人員の確保が難しいこと	保護者参加の行事について、定員を超えるための検討、保護者会実施のための場所の確保と人員および予算について具体的に検討する。
3	ペアレントトレーニングや研修会の実施に至っていない	日々の保護者からの相談に丁寧に対応することで個々の困りごと等には対応している。 保護者全体への対応には場所の確保や人員、費用が必要となるため実施に至っていない	保護者会実施となれば、そこで懇談の中での情報交換や日々の困りごとへの助言・提案が可能

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 霧張キッズ(放課後等デイサービス)

公表日 2025年3月1日

利用児童数 32名

回収数 17

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	10	0	1		コーナー分けや活動内容を工夫して、安全に過ごしやすいとする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1		加配している。支援技術の向上を図り、よりよい対応ができるようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	1		段差への対応や児童の特性に合わせて環境を整え配慮する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	2	0	0		引き続き清掃・消毒を徹底し、可能な補修を行う。活動に応じてコーナー分けなど行い過ごしやすいとする。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1 記載無1		支援プログラムを周知する
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		適切な支援計画になるよう課題とニーズを把握分析して作成していく
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	0		不足している部分を検討改善していく
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		適切な立案に伴い、支援の課題を検討改善していく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	5	0	0		下校後の活動と休日の活動と、それぞれ検討・改善してできることから取り入れていく
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	4	9		それぞれの児童が地域の学校等で過ごしているが、事業所として取り入れられることを検討する
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	2	0	0		より丁寧に対応し、周知する
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	2	0	0		不十分な点の改善を図る
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	5		プログラムとしては提供できていないが、個々の相談として対応している。今後情報提供や対応可能な職員育成を行う
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	1	0	0	送迎の際学校で気になったことなどを聞いて頂いています	共通理解できるよう、保護者への報告をしっかりと行い、情報を取り入れていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	0		支援計画更新時の面談の他、個々の相談に対応していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	0		職員の資質向上を図り、保護者と児童に安心感を持って利用していただけるようにする。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	3	7	6		利用頻度、年齢、発達段階、所属先が異なること、対応する職員数の確保が難しいこと等があるが、引き続き検討していく
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	1		周知および対応の質が向上するようにする	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0		相手に分かりやすいやり取り、十分な連絡・報告ができるようにする
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	1		マニュアルを周知する
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	1		訓練実施を継続し、それについて保護者に報告する
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	0		事故が起こった場合には迅速に対応し細やかな報告をする
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	送迎の車が来ると嬉しそうに出発しています	全員が楽しみに通所できるよう、課題を検討・改善する
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	学校の先生とはお話しする機会が少ないので相談できることに感謝しています	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
帯張キッズ（放課後等デイサービス）		2025年3月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	10人いるとスペースが少ない テーブルをたたんでスペースを確保したり マットを使用して床で支援するなど工夫している。	制度上は満たしているが、体の大きい児童もいるため、更にコーナー設定や過ごす内容に配慮していく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	予約人数で職員数を反映させている。余裕はない。	制度上は満たしているが、配置場所の工夫や職員の資質向上を図って対応していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	無回答 1 トイレ前に段差や入口の狭さがある 車椅子を使用している利用者にも対応している	可能な範囲で更に構造化を検討していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	狭い	可能な範囲で更に構造化やコーナー設定を検討していく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	完全な個室を用意するのは難しいがパーティションなど使用して 集中できる環境を作っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者等の意向等を把握する機会について確認できていない	職員・保護者ともに評価表結果と業務改善について周知していく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	無回答 1	法人として検討している
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	限られた人や外部研修への参加が少ない	外部研修案内等の回覧をきちんと行う 毎月の職場内研修を今後も継続する
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	無回答 1 当所アセスメントの他、保護者からの協力により標準化されたアセスメント結果も活用している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	放課後の時間帯の場合、活動が限られがちであるが、その中で可能な範囲で工夫している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	できている日とできていない日がある スタッフ連絡帳や、翌日の打ち合わせで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	無回答 1 地域交流については課題があると思う 外出はしているが、その日の利用児童のみの経験になっており回数は少ない 地元学校に通学している児童も多い	事業所として地域交流の機会を増やす等、検討していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	経験年数の浅い職員や管理者が多いため	それぞれの職員が、児童の状況を把握できているように意識を高めていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	無回答 1 保護者を介して連携する機会が多い	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	できていない ほぼ全員が同法人の児童発達からの利用のため、情報共有できている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	無回答 1	研修会への参加等を確保する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	無回答 1 マンションのイベントへの参加くらい 地域の他のこどもと活動する機会はなかったと思う（公園に行くことはある） 近くの公園等で関わる機会がある	適した機会を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	無回答 1 協議会等事業所の職員のミーティングに参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に簡潔ではあるが伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	無回答 1 プログラムとしては行っていないが、個々の相談に対応している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	無回答 1 見学者への対応時に意識して伝えるようにしている 契約時に書面にて説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者面談を行っている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5	父母の会、保護者会も開催していない 保護者会等交流の場は確認できていないため	検討している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	行事等の際、写真掲載がNGのこどもへの配慮として撮る時・選ぶ時ダブルチェックしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	同法人の他事業所で行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	現在いない 指示書や薬の保管など、対応しやすく掲示等している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	無回答 1 作成し支援に当たっている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎月の会議で全職員に歯ならず周知させている。起きた際に検討（防止）も行う。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			